

令和元年9月吉日

各教育委員会教育長様
各小・中・特別支援学校長様
各義務教育学校長様
関係各位

—令和元年度—

理科・生活科学習指導研修会のご案内

～学力向上推進校・市川市センター校研究指定校・市川市教育委員会主催～

清涼の候、皆様におかれましては益々御健勝にてお過ごしのことと拝察いたします。また、日頃より本校教育活動に対し、御支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。

本校は、昭和47年より関係各位の御指導のもと、理科の研究を続けております(平成元年度より生活科が加わる)。先人の築いた伝統を引き継ぎながら、教職員一同協力し、切磋琢磨しながら取り組んでおります。

「子どもたちが自ら問い、考える」そのような子どもたちの主体的な学びをひき出す授業づくりについて学び合いたいと考えます。

今年度も、筑波大学附属小学校 教諭 鷲見 辰美 先生を、全体講師としてお迎えし、御講演をいただく予定です。

公務御多忙の折とは存じますが、貴職をはじめ多数の方々の御参会をいただきたくここに御案内申し上げます。

市川市立中山小学校
校長 望戸 千恵美

1 研究主題

「子どもの探究心を育てる理科・生活科」
～子どもが自ら問い、考える授業づくり～

2 期 日 令和元年11月21日(木)

受付 9時50分～

授業展開 10時25分～

3 会 場 市川市立中山小学校

〒272-0813 市川市中山 1-1-5

TEL 047-335-2711

FAX 047-335-2712

交通 京成中山下車徒歩8分、JR 下総中山駅下車徒歩10分

<https://ichikawa-school.ed.jp/nakayama-sho>



4 研究内容

本校では『子どもの探究心を育てる理科・生活科』～子どもが自ら問い、考える授業づくり～という研究主題の下、研究に取り組んでいます。

特に、子どもの思考の流れに沿った授業をつくるために、「生活経験や既習内容をもとにした根拠のある予想立て」・「新たな見方・考え方を獲得する再構成」に重点を置き、子どもたちが探究心を高めながら思考を深め、将来にわたり学び続けることの楽しさや大切さに気付いていく姿を目指して研究を進めてまいりました。

今年度は、理科を通して、どのような人間性を育みたいのかをより具体的に表すために、低・中・高学年ごとに目指す児童像を見据えました。それにより、「理科のための理科」にならず、理科の学習が将来を生きる力となるための学習になるよう研究を進めております。理科・生活科が大好きだと、子どもたちが瞳を輝かせる授業となることを願っています。

研究主任 風間 健祐

5 講師

全体：筑波大学附属小学校	教諭	鷺見辰美先生
低学年：市川市立新浜小学校	元校長	近藤利一先生
中学年：市川市立第七中学校	教諭	佐藤修先生
高学年：市川市立富貴島小学校	教諭	松本邦宏先生

6 日程

9:50～10:10	10:25～11:10	11:25～12:10	13:40～14:45	15:00～16:45
受付	授業展開①	授業展開②	全体会	分科会

全体会

講師 筑波大学附属小学校教諭 **鷺見辰美** 先生

演題 「子どもが自ら問い、考える授業とは」

7 授業展開

学年・組	授業者	単元名	授業展開
1年1組	岡本 拓	「あきとなかよし」	①
2年2組	宮崎 恵子	「おもちゃフェスティバルをひらこう」	②
3年4組	渡邊 亮太	「豆電球にあかりをつけよう」	①
4年3組	奥村 由紀乃	「もののあたたまりかた」	②
5年3組	山下 真実	「ふりこの動き」	①
6年2組	三枝 聡	「水溶液の性質」	②

8 参加申込

市川市の先生方は、別紙「中山小学校理科・生活科学習指導研修会の開催について（通知）」にて市川市教育委員会指導課へお申し込みください。

市川市以外の先生方は、「学校名、氏名、参加希望分科会（低・中・高学年）」を、電話にて中山小（教頭）までお申し込みください。

*お車でのご参加はご遠慮ください。